

事業計画書

事業名		玉島陶・服部地区への移住定住促進事業
団 体	名称	玉島陶・服部地域まちづくり協議会
	住所	倉敷市玉島陶1834-1
	遂行責任者	太田 博朗

1 団体の目的

*定款, 規約, 会則等に定めている目的を, そのまま転記してください。

玉島陶・服部地域を住みよい地域にするため、玉島陶・服部地域まちづくり計画に基づき、まちづくりの実践に努めることを目的とする。

2 事業の分野

*次のいずれか該当する分野に☑をしてください(複数選択可)。

保健, 医療又は福祉の増進 社会教育の推進 まちづくりの推進

観光の振興 農山漁村又は中山間地域の振興 学術, 文化, 芸術又はスポーツの振興

環境の保全 災害救援 地域安全 人権の擁護又は平和の推進 国際協力

男女共同参画社会の形成の促進 子どもの健全育成 情報化社会の発展

科学技術及び学術の推進 経済活動の活性化 職業能力の開発及び雇用機会の創出

消費者保護 団体の運営又は活動に関する連絡, 助言又は援助

3 現状と課題

(1) 地域の状況や市民ニーズ

玉島陶・服部地域は市街化調整区域に指定されており、宅地開発が出来ないため、地域外からの移住がほとんどない。また、跡取り、分家のための家を現在の家近くに新築したいと考えても、多くの手続きが必要で、長い時間がかかる上に建設が出来ないこともある。中には土地境界の確定ができないため断念した家もある。少子化も相まって、10年前(2006年)の穂井田小学校の全校生徒は116名であったが、現在は49名となってしまった。これを打破するため、穂井田社会福祉協議会で空き家、空き地を有効に活用できないかと考え、地域住民の協力を得て、空き家、空き地のリストを作成した。それを受けて、有志が住民に働きかけ、玉島陶・服部地域をアピールするための参考に、地域住民の声を集める「良いところ探し」のアンケートを行った。

穂井田地区社会福祉協議会とは別に、「玉島陶・服部地域まちづくり協議会」を立ち上げることで、まずは、地域住民に問題意識を持ってもらい、地域全体で、この問題に取り組んでいきたい。

(2) 本事業で取り組む地域課題

玉島陶・服部地域のウリ(魅力、アピールポイント)が確定できていない。

空き家、空き地は多くあるが、不動産屋さんが積極的に資料を作成して、斡旋する地域ではない。

この地域を盛り上げたいと思っている人たちのネットワークが出来ていない。

4 目的と概要

(1) 事業の目的

市内、市外からの移住を促進するために、玉島陶・服部地域のウリ(魅力・アピールポイント)を確定する。

具体的にこんな価値観を持っている人なら楽しめること請け合いと銘打って、この地域を売り込むためのパンフレット、ホームページ、ブログの製作。

地域として移住者を受け入れる体制づくりを目的とする。

(2) 事業の概要

玉島陶・服部地域の良いところ探しをして、この地域のウリ（魅力・アピールポイント）を確定する。

空き家、空き地の名簿の作成するための手順、必須事項（物件概要等）の確定。

空き家、空き地情報を作成する。（地区外で連絡の取れない人には、地域との繋がりや、連絡先を探しだし、貸すか売るかだめかの情報をとる。

パンフレットに使用する「ええとこ MAP」の作成。

移住相談会等に配布するパンフレットの作成。

移住希望者のためのホームページ、ブログの開設。

5 受益者と効果

(1) 事業の受益者

地区住民

移住を希望している人

(2) 事業の実施に期待する効果

市内、市外からの移住を案内する仕組みづくりができる。

空き家、空き地の有効利用

「玉島陶・服部地域まちづくり協議会」と地域に住む皆さんとの連帯感が高まる。

地域住民がここならではの良さを、再認識して、移住者を暖かく迎える土壌ができる。

活性化のための「玉島陶・服部地域まちづくり計画」策定の機運が高まる。

6 団体の能力

(1) 団体が持つ能力

地域住民ならではの繋がり、情報、信頼関係がある。
自分の生まれ育った地域、生活している地域なので、地域愛がある。

(2) 能力の活用

*課題解決に向けて、団体の能力がどのように役立ちますか。
繋がり、情報、信頼関係があるので、個人情報の収集ができる。
地域愛があるので、地域発展のための体制づくりが容易にできる。

7 事業内容とスケジュール

(1) 事業の具体的な内容/

● 1、2ヶ月に一度、例会開催

- 1) 玉島陶・服部地域の良いところ探しをして、パンフレット、ホームページ、ブログ製作をするための、ウリ（魅力、アピールポイント）を確定する
- 2) 地域の資源を見える化した「ええとこ MAP」の作成
- 3) 空き家、空き地情報作成ための手順、必須事項（物件概要等）の確定
- 4) 空き家、空き地リストの作成
- 5) 空き家、空き地リストに基づき担当者振り分け
- 6) 空き家、空き地情報作成
- 7) 移住相談会等に配布するためのパンフレット(A3 二つ折り、コート紙、110Kg 両面カラー)製作を始める
- 8) 移住希望者のためのホームページ(トップページ、ええとこ MAP、空き家・空き地情報、穂井田地区のイベント情報等の内容掲載)制作を始める
- 9) 移住希望者のためのブログ(「玉島陶・服部地域まちづくり協議会」の活動状況、穂井田地区の四季、イベント等を掲載)制作を始める
- 10) 移住希望者のためのブログ公開
- 11) 移住相談会等に配布するためのパンフレット(3000部)が出来上がる
3000部の配布内訳：移住相談会/年11回開催/1100部(100部×11回)
常設施設/400部/(100部×4施設)/倉敷市東京事務所、ふるさと回帰支援センター東京事務所、ふるさと回帰支援センター大阪事務所、とっとり・おかやま新橋館
倉敷市役所、穂井田憩いの家、地区住民配布/1500部
- 12) 移住希望者のためのホームページ公開
- 13) H30年1月15日(月) 移住相談会
- 14) H30年2月25日(日) 移住相談会

(2) 事業のスケジュール

5月	玉島陶・服部地域まちづくり協議会例会
6月	玉島陶・服部地域まちづくり協議会 空き家、空き地情報作成ための手順、必須事項（物件概要等）の確定 空き家、空き地リストの作成 空き家、空き地リストに基づき担当者振り分け、収集開始
7月	玉島陶・服部地域まちづくり協議会 ウリ（魅力、アピールポイント）を確定 「ええとこ MAP」の作成 移住相談会等に配布するためのパンフレット製作を始める
8月	
9月	玉島陶・服部地域まちづくり協議会 移住希望者のためのブログ制作を始める 移住希望者のためのホームページ制作を始める
10月	玉島陶・服部地域まちづくり協議会 空き家、空き地情報作成 ブログ公開
11月	玉島陶・服部地域まちづくり協議会
12月	ホームページ公開 パンフレット刷り上がる、各施設配布
1月	玉島陶・服部地域まちづくり協議会 H30年1月15日(月) 移住相談会
2月	H30年2月25日(日) 移住相談会

8 目標

内容	現状	目標値
空き家情報	0	10
空き地情報	0	15
ええとこ MAP(パンフレットに使用)	無し	作成
パンフレット	0	3000部作成
ブログ	無し	月に2回は情報発信
ホームページ	無し	月に1回は情報更新

9 受益者負担 ※団体の財源確保のため、可能な限り参加費や受講料などを徴収してください。

徴収する (見込み: _____)

徴収しない (理由: 受益者負担をするイベントを開催しない)

10 事業の見通し

*2年後、3年後といった将来、事業をどのように展開させますか。

積極的に「陶・服部」地域を盛り上げたいと思っている人たちのネットワークが出来る。
ほたる祭りを開催する。

「玉島陶・服部地域まちづくり計画」に基づき、地域の取り組みを進める上で必要な建築物を許可可能とする特別指定区域の指定までの実行計画が出来上がる。

11 他団体との協力

*他団体と協力して事業を実施するときは、その団体名や役割を記入してください。

JA 岡山西園芸協会

よりはぐプロジェクト

穂井田地区社会福祉協議会

12 行政との協働 ※自主事業コースの団体は記入不要です。

*協働する市担当部署の名称, 役割, 協議をした日及び内容を記入してください。

倉敷市企画経営室くらしき移住定住推進室

倉敷市農業委員会

収支予算書

1 収入の部

科目	内訳	金額(円)※2	積算根拠
受益者負担		0	
会費からの繰入		20,000	
その他		0	
市補助金		500,000	
収入合計		520,000	(支出合計と一致)

2 支出の部

科目	内訳	金額(円)※2	積算根拠
人件費(会員)※1	物件情報調査費	50,000	800円×4時間×4日×4人=50,000
交通費(会員)※1		0	
人件費(アルバイト等)	物件情報調査費	64,000	800円×4時間×10日×2人=64,000
謝金(講師等)		0	
旅費交通費(講師等)		0	
消耗品費	コピー代、ノート、	7,000	A4コピー: 3円×6枚×26人×7回=3,276円 A4コピー用紙代: 450×5冊=2,250円 ノート A4×5冊=1,300円
印刷製本費		0	
通信運搬費	資料郵送費	4,000	
保険料		0	
使用料・賃借料		0	
外注費・委託費	パンフレット外注	169,000	3,000部
	HP外注	206,000	スマホ対応仕様
対象経費計		500,000	
食糧費	お茶・お菓子	20,000	
人件費	物件情報調査費	0	
その他		0	
対象外経費計		20,000	
支出合計		520,000	(収入合計と一致)

※1: 会員に支払う人件費と交通費の合算額は、対象経費計の1割を上限とする。

※2: 金額欄は切り上げて千円単位で記入してください。